

結い YUI

山梨県人権擁護委員連合会
事務局発行
甲府市北口一―一―九
甲府地方事務局
人権擁護課内

「結い」とは田植えなどの時の助けあいのこと。
土くさくあたたかい言葉です。

弱者の立場に理解を！

一日人権擁護委員に鈴木徹選手も

一二月四日から一〇日の一週間、県内各地で第六一回人権週間行事が盛大に展開された。

人権啓発パレード当日の六日は、昨晩からの雨も早朝には上がり、昼前には冬の日射しも射す穏やかな好日となった。実行委・事務局が入念に検討準備した要項に従い、朝九時三〇分には広報車が発発、続いて一日

人権擁護委員委嘱式、デパート内啓発、駅頭啓発等、緻密なスケジュールが淀みなく消化されていった。とりわけ駅頭啓発には、ヴァンフォーレ甲府の人気者ヴァン君に加えて、まもる君・あゆみちゃんも駆けつけ、街ゆく人の注目を集めた。

午後一時三〇分より、駅前広場で行われたパレードのオープensemレモニーでは、



一日人権擁護委員も挨拶。義足のジャンパー鈴木徹選手の「弱者の立場理解」を訴えた挨拶は、参集した委員の胸を打ち、力強い行進の開始となった。パレード

の先頭に鈴木選手とヴァンフォーレ甲府の二人のコーチ、その

「結い」とは田植えなどの時の助けあいのこと。
土くさくあたたかい言葉です。

駅前に戻っての閉会式では、一日人権擁護委員を始め協力いただいた各機関に感謝状が贈られた。

人権標語作文表彰式

第四回人権標語コンテストの表彰式が一月七日、ホテル談露館で行われた。表彰式の中で審査委員長は、「受賞作品はどれも、生活を素直に、わかりやすい言葉で表現していた。また、相手の心を思いやる気持ちがある作品が多かった。優しさ、勇気、思いやり、笑顔という言葉が多く使われており、そういうものを必要としている世相を反映している。こうした活動が広まって、多くの県民が自分と社会と向き合うことは、県民にとって大きな財産となる」と講評された。

秋の人権啓発活動

県内各地の祭り会場で、秋の啓発活動が実施された。何れの会場も予想以上の人出で、対応に大わらわの啓発となった。(左表)



年頭のご挨拶

会長 丸山 公夫

新年明けましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年、一昨年の世界人権宣言六〇周年、人権擁護委員制度発足六〇年の記念すべき年を経て、皆様には多くの人権擁護活動にご奉仕をいただき心から感謝申し上げます。

本年は、皆様ご承知のとおり、六月に山梨県で関東ブロック大会が開催されます。これは是非とも成功させなければなりません。すでに、その具体的内容を検討しておりますが、どうか更なるご協力をお願い申し上げます。

の後ろに可愛い城北幼稚園マーチングバンドが続く。二五〇名の一大パレードが、和やかに整然と平和通りを行くと、浴道からは声援や拍手も。人権啓発パレードも、師走の甲府の風物詩となったといえそう。今年最後まで全く乱れることなく、人権尊重を訴えるにふさわしいパレードとなった。

また、第二九回中学生人権作文県大会の表彰式も、人権週間の一月五日、「人権の歌」が流れる中、山梨文化会館で行われた。最優秀賞は、

開催月日	行事名	開催地
10月17日	甲府大好きまつり	甲府市
10月18日	甲州およっちょい祭り	甲州市
10月18日	甲斐市わくわくフェスタ	甲斐市
10月24日	ふれあいフェスティバル	富士吉田市
10月31日	身延健康福祉まつり	身延町
11月 8日	大柳川もみじまつり	鰍沢町
11月 8日	早川紅葉とそば祭り	早川町
11月 8日	甲州増穂まつり	増穂町
11月14~15日	ふれあいフェスティバル	甲府市
11月23日	武川米米まつり	北杜市
11月29日	山梨市どっとこむ祭り	山梨市

関プロ山梨大会の 開催に向けて(Ⅲ)

栃木大会から六カ月経過、関プロ企画実行委員会活動は、佳境に入った。

(一) 会場施設等

一〇月、会場の施設状況を調査した。結果として
①講演会場は、収容人員も十分あり、地元民生委員の方々にも講演会に参加いただくことが可能である。②分科・分散会の会場も確保できる。③宿泊施設もゆとりがあることなどに加え、何よりも、会場からの富士山の眺望が素晴らしく、県外からの参加者に喜んでいただけると実感した。

(二) 実行委員会模様 一一月の実行委員会

「DV被害者」の保護
アメリカの公共のトイレに入ったところ、壁にDV(ドメスティックバイオレンス)の相談窓口の電話番号があって驚いた...という話を聞きました。DVの被害者は女性が多く、それを考慮してトイレという女性だけのプライベートな場所に貼ったのでしょうか。

アメリカで、被害者や隣人・知人が警察に通報した場合、二人以上の警官(場合によっては、五、六人)が現場に急行します。警察はDVの疑いがある限り、被害者を保護します。被害者は必要であれば、シェルターと呼ばれる保護施設に収容され、法によるしかるべき処置や判断を待ちます。警察の迅速な対応やシェルター等の受け入れ態勢は、被害者にとって強い味方です。

DVを受けている女性が助けを求められる環境を整え、身の安全を守る。被害者を救う第一歩ではないでしょうか。

は、現地調査を踏まえ具体的な議論を行った。

①分科・分散会は「人権擁護活動の現状と問題点」「自主運営の現状と問題点」の二点に絞り、問題点を出し合う方向で取り組む
②意見交換会では、最後に「鼈唾太鼓」を演奏し、次期開催県連の群馬に引き継ぐ
③エクスカーションは、リニア新幹線見学をメインにしたいが、現時点では試乗が出来ない状況にあり、試乗できるような関係方面に働きかける。

(三) 実施に向けた体制
開催に当たつての基本的な体制は、①会場・受付を都留協議会 ②研究大会・意見交換会を甲府協議会 ③宿泊・エクスカーションを峡南協議会にお願ひすること

飯室 初重(ボストン在住)

飯室 初重(ボストン在住)は、現地調査を踏まえ具体的な議論を行った。

が決定された。
小規模県だけに、全委員のお手を煩わすことになりそうです。(事務局 土肥)

県連研修会で新企画

今年度第一回県連研修会が一〇月一日、南アルプス市で丸山県連会長を講師に「人権擁護委員の役割と資質の向上を目指して」と題して開催された。

講演は、「人権とは」という基本的な問題に始まり、人権擁護委員制度の設置理念、人権相談の現状、人権啓発・救済、自主運営について等、順を追って進み、最後に、人権擁護委員が負っている責務や、活動の方向についてを、実例を交えて語られた。わかりやすく、参考になったと非常に好評であった。

第二回は十一月五日、笛吹市で開催された。来年度本県で開催される関プロ研究大会を視野に入れて、①人権擁護委員活動の現状と問題点

②自主運営の現状と問題点の二点について三分散会に分かれて討議を行った。それぞれの分散会で活発な議論が



委員から一言

ブログとデジカメ

山田 勝彦(山梨)

歌の文句ではないが、私のポッケにやチユウインガム♪ならぬデジカメが入っている。折に触れブログのカット写真を撮るためだ。

ブログは定年退職後に覚えた遅ボケのパソコンがきっかけ。顔こそ見えないが、PCの向こうにいる人との文字の会話がまた面白い。

暇さえあれば、PCの前に。カメラのレンズを通して普段は見えないものまで見えるようになった。そのデジカメは「人権」の丸山公夫会長に頂いたものだ。

交わされ、最後に全体会の中で発表し合って終了した。充実した研修会だった。

人権教室も活発に

今年も人権教室は更に進展を遂げている。北杜グループを

始めとする各地での開催内容は多彩で、いよいよ充実しており、笑いや感動の中で子どもたちの人権感覚

は一層磨かれていくようだ。中央市三村小では、一〇月一六日子ども人権委員会による最初の教室が開かれた。

新型インフルエンザの流行で、マスクをつけての開催となった。子どもたちの真剣な目差しが印象的であった。

他県連との交流会も

峡南協議会では、一〇月二六日、愛知県小牧市の委員と交流会を行った。一方、富士吉田市を神奈川県秦野市の委員たちが、一〇月二九日訪問した。

どちらも、熱心な情報・意見の交換が行われた。

退任された委員の方々

平成二二年一月一日までに次の委員の方々が退任されました。在任中のご活躍に敬意を表し、今後のご健勝をお祈りいたします。(敬称は略させていただきます)

- 樋口 達也(中央市)
- 五味 恭子(北杜市)
- 小尾 榮子(北杜市)
- 浅川 武俊(北杜市)
- 深沢 歳一(増穂町)
- 遠藤 雄一(南部町)
- 佐藤 茂法(富士河口湖町)

編集後記

明けましておめでとうございませう。

今年も良い年でありますように。

(編集部一同)

